

| 会 議 録 | |
|-----------------|--|
| 会 議 名 | 令和 5 年度第 2 回丸亀市部活動地域移行等検討委員会 |
| 開 催 日 時 | 令和 5 年 11 月 13 日 (月) 午後 1 時 30 分～15 時 00 分 |
| 開 催 場 所 | 丸亀市役所 3F 303 会議室 |
| 出 席 者 | 出席委員： 岩根 誠・漆原 光徳・大西 賢志・香川 真美・小糸 太一 齊藤 栄嗣・高井 真治・近澤 裕明・徳永 博保・西川 昌 宏・前谷 智仁・山本 博美 (50 音順・敬称略) 傍聴人： なし 事務局： 末澤教育長・窪田教育部長・林 裕司産業文化部 部長・田中 壽 紀市民生活部 部長・岩井学校教育課長・村尾まなび文化課長・ 奥田スポーツ推進課長・御厨学校教育課主任指導主事・林まな び文化課副課長・野本スポーツ推進課副課長・遠藤学校教育課 指導主事・立石学校教育課指導主事・多田市文化協会事務局 員・坂田スポーツ推進課担当長・石川文化課 |
| 次 第 | 次 第 1 国が推進する部活動改革の動向と丸亀市のロードマップについて 2 令和 5 年度の本市の取組みについて 3 市内スポーツ団体の現状について 4 市内文化団体の現状について 5 その他 |
| 議事の経過 及び発言要旨 | 1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 議事 4. 閉会 |
| 事務局 | ただいまから、令和 5 年度第 2 回丸亀市部活動地域移行検討委員会を開催いた します。本日の会議は、お手元に配付しております資料に沿って、進めて 参りますのでよろしく願いいたします。なお会議記録を作成するために発 言の方を録音させていただいております。発言の際には、マイクをオンに してご発言いただきまして、終わりましたらオフにするようお願いいたしま す。 それでは末沢教育長より、ご挨拶申し上げます。 |
| 教育長 | 皆様こんにちは。大変ご多用の中、お集まりをいただきましてありがとうご ざいます。5 月に引き続いての第 2 回目の会議となります。よろしくお願 いいたします。 今年の夏は全中大会が、四国そして香川県で行われました。私もできるだけ 中学生の姿を見ようと思ひまして、市内大会から見ました。活躍をする中 学生の姿が、本当に心に残りました。真剣なまなざしであるとか笑顔である とか、また涙であるとかいうのを見させていただいて、非常に部活動って いうのは、子どもたちの成長の大きな機会になっているということを実感 いたしました。7 月の末に県の吹奏楽コンクールも拝見いたしまして、綾歌中 学校の部活動指導員の方は、地域の方で指揮者として活躍をされていま した。学校より生徒の反応を聞きますと、非常に子どもたちの成長の一助 になったということでした。同時に、生徒は地域の方が自分たちのために 時間をさいて指導してくれるということで、直に指導を受けた子どもたち は将来地域を担う人材として育ててくれるだろうと感じました。 学校の現状を申しますと、部活動だけではございません。いろんな場でこれ |

| | |
|-----|--|
| | <p>まで通りの学校の活動ができるかどうかということが問われております。その中で私は、地域のお力を借りながらまた連携しながら、学校教育を進めていかなければいけないということを感じております。学校も助かるし、地域もそれで活性化に繋がるということになればいいかなと思っております。つまり、部活動の地域移行というのは、部活動のみならず、学校と地域のあり方ということも問われているような気がしております。</p> <p>本日は第1回後の取り組みの状況、これからについて説明をさせていただきます。よりよい取り組みになるよう、それは生徒にとっても教職員にとっても地域にとっても、そういう取り組みになるように思っています。それぞれの立場から、ご意見を賜ればありがたいと存じます。本日どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。それではただいまから議事に入ります。議長は漆原委員長にお願いしたいと思います。よろしくよろしくお願いいたします。</p> |
| 議長 | <p>それでは、ただいまから議事に入らせていただきたいと思います。お手元の資料に従い進めさせていただきます。資料1 ページ目です。議事の1、国が推進する部活動改革の動向と丸亀市のロードマップについて、事務局からご説明をお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>6月に丸亀西中学校の校長先生と相談したときに、8月以降女子ソフトボール部が人数不足で困るという理由で、拠点校方式を行いたいということでした。7月から中体連等にも連絡を取り、このやり方だったらできるだろうと情報を集めました。東京都の先進地の事例もいただき、それを参考に進めた次第です。</p> <p>西中学校の方で、7月から子どもたちや保護者におろしてもらい段取りしてくれました。9月の校長会后、各学校にチラシを配布しました。残念ながら今は希望者ゼロの状況です。他校の中学生も多くが部に入っており、今年はちょっと難しいかなという状況です。顧問の先生に聞きますと、4名の1年生部員と顧問で時間をかけて練習をやっている。4名の今の目標は、「来年一年生が入ってきたときに、私らが新入生にルールを教えられる、キャッチボールを一緒にしてあげられる」それを目標にやっているということでした。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。何かご質問ありましたらお願いいたします。拠点校方式はこれからおそらく少子化の中で一つの全国的な流れにはなるかなというふうに思っていますが、丸亀の場合中学校がそんなに離れていないので、可能性は高いかなと私自身は思っているところです。</p> <p>続きまして議事の3に移らせていただきます。スポーツ団体の現状ということで説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>スポーツ推進課の奥田です。それでは市内スポーツ団体の現状についてご説明をさせていただきます。現在のところ、スポーツ推進課も各スポーツ少年団体や競技団体の現状を十分把握できてない状況です。このため、まずは各スポーツ少年団体や競技団体への意識調査のため、アンケートを実施しているところでもあります。その結果については、現在集約中ですので、次の機会に報告させていただきたいと思っております。このアンケートの内容につきましては、スポーツ団体が部活動地域移行の内容を存じ上げているのかどうか、また、もし地域移行を実施する場合に協力や受け入れを行うことが可能かどうか、といった内容です。</p> <p>また、先ほどの教育委員会の方から説明がありましたように、部活動の指導を行うにあたり、教育委員会の方で部活動指導員や外部指導員を集め、配置している現状があります。今後は、スポーツ少年団や競技団体の中で、新た</p> |

| | |
|-----|---|
| 議長 | <p>に指導員として協力ができる可能性がある方を探していきたいと思っております。スポーツ少年団や競技団体を所管しておりますスポーツ協会とも協力しながら、指導者の確保や発掘を順次進めて参りたいと考えております。</p> |
| 事務局 | <p>ありがとうございました。現在集約中であるということで、また次回詳細を説明されるということです。質問等ございませんか。</p> <p>それでは、続きまして議事 4 に移らせていただきます。市内の文化団体の現状についてということで事務局の方からお願いいたします。</p> <p>文化課の村尾でございます。まず、丸亀市の文化芸術振興の考え方について簡単にお話したいと思います。丸亀市文化課としましては、丸亀市文化芸術基本計画に基づいて新しい価値と新しい繋がりを生み出すという目標のもとに、五つの基本方針に基づいて施策を進めております。その重点施策としての一つとして、子どもたちの文化芸術活動の充実を掲げまして、今年度から予算、事業、それぞれ拡充をして展開して参ります。</p> <p>皆さんご承知の通り新市民会館が令和 8 年の 3 月に開館を予定しておりますので、今、整備の方を進めております。また、整備にあたり「豊かな人間性を育む」「誰一人孤立させない」「切れ目ない支え合い」という理念を掲げております。これまで文化芸術の愛好家だけが使っていた施設から、より文化芸術が社会性を持つ関係にあるということをしかりと意識して、すべての市民が利用できる施策を現在も進めていっているところです。</p> <p>こうした新しい施設ができることによって子どもたちの健全な育成はもとより、技術技能の修練や取得についても非常にスキルアップするということ意識をしております。施設の内容も非常に充実しておりますので、ぜひ部活動にもご利用いただきたいと考えております。</p> <p>その上での市内の文化団体の現状ですけれども、今日も出席させていただいております文化協会内に現在 97 団体あります。しかしながら、各会員の高齢化、それから後継者不足によって、会員数が減少している現状から団体存続の危機が危惧されていて、とりわけ古典芸能や伝統芸能は消滅の危機にさらされているという実情があります。</p> <p>そこで、今年度より会則を大幅に変更し、理事・役員についても刷新をいたしましたところ、非常に活発なご意見が出るようになってきております。運営に関わる事務局についても、事務局員 1 人を増員して、より実効性のある事業を展開しているというところです。今年度からの変更ですので即変化はないですけれども、事業内容については子どもたちの文化芸術の拡充に向けて、従来は自分たちの団体の発表や展示にとどまっていたが、昨年度ぐらいから、子どもが参加できるワークショップとかの講座を、高齢者の人と一般の子どもたちが一緒に触れ合ったり教えあったりというようなことをやっています。これが非常に好評でして、文化協会の団体の方からも一緒にこれをやれてよかったとか、私たちが伝えたかったことがちゃんと伝わったと感想としてうかがっています。</p> <p>また、11 月に入ってから、事務局の方で各団体に向けてアンケートを実施しております。目的は子どもの文化芸術活動機会の格差をなくすということです。質問の内容はいろいろありますが、特に部活動に関係する内容としましては、学校へのアウトリーチは可能であるかという設問、子どもと一緒に活動できる受け入れ体制があるか受け入れが可能かという、この 2 点を大きく聞いております。11 月 20 日までに回答を求めておまして、その結果によって個別のヒアリングを進め、団体として個人として例えば部活動指導員も含めた部活動に対応できる人材の確保、確認を急いで取りまとめたいなと思っております。</p> <p>一方で、文化芸術の推進・振興ということですので、現在ある部活動への対応はもとより、例えば小学生がやってみたいという活動が中学の部活動がな</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>かった場合にも地域でこの子どもたちの活動が受け入れられるような体制が、文化協会はじめ文化協会に所属する団体で可能かどうかというようなことも、取り組んでいきたいと思っています。その上では、それに対応する人材やお金の面など、いろんな課題があるかと思っています。そういったところは新しい理事役員から、文化協会が地域の中で、学校教育の現場や子育ての現場にどう関わるかということをしかりと見ていきたいという意味表示もいただいておりますので、文化課も側面的な支援をしていきたいと考えております。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。市内文化団体の現状ということで、同じようにアンケートをまとめられているということでした。何かご質問ありましたらお願いしたいと思います。ここまでの議事の1～4まで説明いただきましたけれども、いかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>市PTA連絡協議会の岩根と申します。資料でも全国大会出場者のリストや結果が出ているのですが、私の息子も全国大会に行った時に、行政の方から金銭的な援助がありました。保護者としては非常に助かったのですが、今後地域移行した際にも同じような支援が継続して行われるのでしょうか。学校部活動なので、部全体で出場するとPTAの方からの補助もあるのですが。地域移行に行ってしまうとPTAからの補助の方も規約等を変えないといけないのかなあとと思います。行政からの補助は今後も継続できるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>現在は丸亀市としては、学校部活動を対象に補助をしております。学校以外で活動している団体が、全国大会規模の大会出場時は、市長さんと・議長さんの方に挨拶に行ってお祝いをいただくことがあると聞いております。関係課は、スポーツ推進課が間に入って来てやっております。部活動が地域移行になった場合に遠征補助についてどうするかということですが、他の市町の状況も聞いたりして検討中というのが実際のところですが、例えばチームスポーツでしたら、丸亀市と他の市町と二つ以上の市町が関係してくるようになり各市町の事情があります。結構な金額になるので、県全体の状況も踏まえて検討していけたらと思います。PTAでも宿泊費等の補助をしてもらって、それでも個人の持ち出しがあったと思います。</p> |
| 委員 | <p>活動中の事故に関しての質問です。学校現場での部活動だと学校災害補償制度に入っていると思うので、すべての事故が対象になるのですが、地域移行になると対象から外れるのではないのでしょうか。週末のスポ少の事故は保険が外れると思います。そういう点もカバーをしていかなければいけないと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>事故が起こった時には本当に大きなこととなります。学校関係の合同部活動や拠点校部活動は安心してやれます。クラブでは、そのクラブが主体になってやらなければいけないので、県保健体育課主催のワーキングの会1回目で、保険会社を呼んで情報提供がありました。保険に入ってもらわなくては子どもたちを守ってあげることもできません。来年3月とか4月に色々な会があると思うので、スポーツ団体の会で伝えてもらえたらと思います。大きな掛け金ではなかったと思います。</p> |
| 委員 | <p>文化協会には大きく分けまして舞台部門と展示部門にわかれます。要は部屋で飾って鑑賞していただく展示部門と、舞台上で演じていくものに大きく分かれます。吹奏楽やオーケストラや合唱が演劇部門になります。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>合同で活動するような場合、例えば南中生徒が他の中学校に練習に行ったときの途中の事故はどうなるのかというのがあります。他校でやる時のポイントは整理していただいて、できることから進めてほしいです。</p> <p>次にブラスバンドでは吹奏楽連盟という大きな連盟があります。そちらのルールが非常に厳しく、1人でも違う人間が入っていると失格になるとかそういった問題があります。今、吹連の方でもルールを変えようと全国的に展開しています。おそらく合唱も同じ形で展開していくのだらうと思います。</p> <p>文化協会として企画をしているのは、小学校が中学校に上がってきた時に部活動がない場合や完全に地域に移行したときにどうなるかについてです。市の文化協会としては、ミニ部活動的なワークショップを小学校で展開できないかとか検討しています。</p> <p>他に心配な点ですが、文化部だけでなく運動部にもあると思います。西中学校女子ソフトボール部ですが、仮に南中学校女子ソフトボールがあって、そちらは単独でも部活動ができるぐらい部員数があるとします。そのような場合に、少ない人数の中での取り合いが起こるのではないかなど心配します。</p> <p>私たちブラスバンドの中でも、実際問題として近隣の高校ですが熱心に部活動をしている部があるのですが、高松のジュニアオーケストラの方に行くから部活はしないってなった時に、部活動としての人数が減るようになります。全国でも活躍している学校でも部員の取り合いが激しくなっています。</p> <p>その中で、私の耳に入ってくるのは色々な難しい人間関係が出てくるということです。高校生でもそうなので、多感な中学生の時期にそういった辺りも規制できるかが必要になります。行政も気にかけて関与する必要があるのではと思います。部活動は生徒が主体ですから、そこをちゃんとした目線の活動をしていきたいと思っております。</p> |
| 議長 | <p>貴重なご意見ありがとうございました。事務局の考えはどうでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>子どもたちの居場所がどうなるのかを、教育委員会・スポーツ推進課・文化課でメインにやっていかなければいけないと思っています。先日も綾歌中学校と東中学校のバレーボール男子が練習試合を、6人：6人でしていました。その後新聞に新人大会の結果が出ていたのですが、東中学校のバレー部は棄権になっていました。推測ですがインフルエンザ等が出て5人になって棄権になっているのなら、子ども達は悔しいだろうなと思いました。</p> <p>中体連や文化連盟でもルールを柔軟に変えていただかないと、現場だけでは収まりきれません。学校はいろいろ工夫して、西中学校も拠点校部活動をスタートしたわけです。そんな中、中体連からは1年だけ拠点校にして元に戻すなどは駄目ですよと言われました。中期的な体制で進めていくため、学校が作るのではなくて市が中心になって拠点校を進めています。強くするだけが目的ではありません。</p> |
| 委員 | <p>丸亀市スポーツ協会会長をしている斎藤と申します。スポーツ少年団の本部長をやらせていただいております。前回も私は、「指導者」が一番大事だという話をしました。今回、認識としては丸亀市の学校部活動の地域移行に関しては、当面、学校の部活動をメインに持って行って、そこにいわゆる人材を地域から派遣していくというような考えでいいのですね。そこで、私としてはよくわからないのは、例えば県の人材バンクを活用するとか、或いは地域の方に協力を得るとかイメージ図の中では書かれています。指導員になるための要件がよくわからない部分があります。運動部活動もそうですし、文化部活動あたりはどういうような指導者の要件があるのだらうかっていうことが気になります。スポーツの場合は、例えばスポーツ少年団は国が示している指導者資格というのがあります。そういうところで、ある程度の資格の判断はつきます。いわゆる中学校の教育という制度を指導するという観点</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>から、もう少し何か要件がいるのでしょうか。更に、学校部活動が丸亀市の場合も地域に移行するというのであれば、受け皿になるところというのは運動部の場合はスポーツ協会が中心になってくるのかなと思います。そこにはスポーツ少年団が張り付いていますし、各種種目の加盟団体というのがあります。たとえば、サッカーであれば日本サッカー協会に繋がっていております。競技としては、いろんな面で中体連の大会だけではなく、いろんな大会はそこで網羅できます。いわゆる子どもたちのスポーツ活動については充実した活動ができるのではないかと思います。スポーツ少年団の場合も、今は小学校を卒業すると退団という形になっています。しかし、スポーツ少年団を作った当初から、地域社会において社会貢献できる人材育成をしていきたいと思います。ということが本来の目的になります。そういう理念の中で、地域が活性するというにつなげていかなければなりません。丸亀市の場合も、これから先も少子化が続くと思いますので、中学校の部活動の地域移行というのは少しずつ変わっていくのかなと思います。</p> <p>私が一番気になるのは指導者のことです。その指導者とは一体どういう方が指導者として受けていただけるのか。スポーツ推進課の課長から、アンケートのことがでましたが、スポーツ少年団においては、中学校の部活動地域移行については、意識が高いと思います。当初、この委員会が始まる前から、スポーツ少年団の方から、スポーツ少年団が中学校の運動部活動を受けるとなるとどうなるのかと、聞いてこられていました。まだ、教育委員会の方からはそこまでの話はちょっとはっきりとわからないので、そういうことがわかるとお知らせしますっていうような形をとってきたような次第です。</p> <p>また、気になるのは、指導するにあたってどういう体制を作らなければならないのかということです。スポーツ少年団が、3歳児から入れなさいっていうそういう方針があった時にも、小学校に上がる前の子どもたちが、当初の計画では活動しておりました。中学生ありきで物事を考えていくのではなく、その子どもたちが将来、やはりすばらしい大人にこうなっていくような、運動部活動・文化部活動にならなくてはならないと思います。そこにはどうしても指導者というのが大事になってくる。その指導者を、地元でそういう指導者がいて、その指導者と子どもたちが、一つのことについてチャレンジしていくような中で、素晴らしい教育っていうのができるのではないかと思います。その子たちがおそらく、丸亀市の将来を支えてくれるような子どもたちに成長するのではないかというふうに思います。指導者の定義或いは要件等を考えていただけたらありがたいと思います。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。先ほど説明いただいた図を見ると、部活動コーディネーターというポジションが一番上にあります。これについて、ある程度具体的にイメージはできているのでしょうか。現時点で結構なので、どんな状況なのか進捗状況を伺えればと思います。</p> |
| 事務局 | <p>学校関係のコーディネーターを私の方が担当しております。前回の会でも印象に残ったのが「人材」という斎藤先生の言葉でした。学校が活性化し、地域がまた一緒に動いていただけるということで、人材については今から広げていかなければなりません。県の方でも人材バンクを作っているということで聞いたところ、今準備しているということでした。今、丸亀市には4名の部活動指導員が入ってもらっているのですが、その方については学校や市教委からの紹介、保護者の知り合いの方、元教員等がおられます。団体に所属していて実績がある方には安心感があるから入ってもらったという状況です。今後、学校からの希望人数が増えていった場合に、条件も必要だと思いますので、それについてはスポーツ推進課とか文化課とも相談し、そこからの推薦になると思います。令和5年度と6年度の前半ぐらいまでは何とか学校の人間関係でいけますけど、多くの希望が出てきたときは県の人材バン</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>ク、市のスポーツ協会の方にも助けてもらいたいと思います。逆にスポーツ推進課でこのような制度や資格がありますよと教えてくれたらありがたいです。</p> <p>スポーツ協会の方では、指導員資格というのがあります。その資格が外部指導員として対象になるかどうかという議論はこれからだと思います。しかしながら、一定の資格というものは制度としてはあります。先ほど斎藤先生からお話がありました、競技団体ごとに資格というものを持っています。その資格があればいいのかどうかというところは、今後の検討課題だと思っております。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。丸亀市のイメージ図にあるように運営をしていくということですね。非常にわかりやすいシステムはつくれるのではないかといいがしています。各市町で相当温度差があって、県の審議会に出てくるのも、本当に様々なやり方・運営があります。その中で、先ほど再確認を伺って大体私はわかっていたつもりでしたが、この図がまさに今後の方針なのだろうと思います。後、細かな点に関しては、今出てきたいろいろな意見をくみ上げて運営がされていくのかなというふうイメージを持っております。</p> <p>私の方から、突然ふって申し訳ないのですが、中学校現場の先生方がどのようにとらえて、どんな空気感なのか校長先生に聞けたらと思います。情報として差し支えない程度に伺えればと思うのですがいかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>中学校校長会の大西です。綾歌中学校になります。本校は吹奏楽部と野球部がこの地域移行に関する部分でお世話になっており、非常に助かっております。本校の職員数が少ないため、他の競技でも広げていただいたら非常に助かります。実際に野球部の顧問は、3年生の担任をしている1人だけです。吹奏楽につきましては、地域の吹奏楽部OBの方で春先から声をかけさせていただいて、最後は教育長さんの同級生ということでお願いもしてくれ、引き受けていただくということになりました。吹奏楽の指揮をしたことがある教員がおりませんので、すごく助かっております。</p> <p>市全体に関してですが、先日丸亀市内の野球部の顧問と話をしておりました。ものすごく部員数が減るということに懸念しているということでした。部活動が成り立たなくなるので顧問で調整していわゆる地域クラブに近い練習機会を作るのはどうなのかという相談を受けました。熱い思いを持っている教員もおります。例えばクラブを作って、いろんな学校の優秀な選手を1人2人ずつよって強いチームを作りたいと思うのもゼロではないと思いますがそれはちょっと待てよと、競技全体のことも考え維持できないかと考えております。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございます。現場の状況をお話いただきました。他いかがでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>市の中体連の担当をしております、南中学校の高井と申します。南中学校に関しては、生徒数も多いし、部活動の数もそこそこあります。先生方の数も多いので、各部活動男女それぞれ2人から3人の顧問の先生がつけるという状態で、顧問の先生方も熱心に部活動に関わってくれています。ただ、部活動が学校の主たる業務ではありません。自分の教科とか学年団とかの仕事がたくさんあります。そのため部活動の指導に負担を持っている先生方も中にはおります。教育委員会の方からも外部指導者等のご紹介をいただいて、教員の負担を少なくしていこうというふうに取り組んでいるところです。先生</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>方の部活動への関わりや指導で先生方の負担が多くなると、最終的には他の部分で子どもたちにも影響してくるので、改善は進めていかなければいけないと考えています。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。</p> |
| 委員 | <p>私は南中学校ブラスバンド部のOBです。僕がこの11月の時点で、例えば丸亀市から依頼を受けて南中に教えに行くとする、そのため今登録をする、そうすると来年の指揮者として出ることが可能になります。ところが、人数が少ない学校の場合は私が教えに行ったとしても指揮者としてどうなるか色々問題があります。結局人数ありきのルールで、まだ吹連は動いていません。</p> <p>また、私が両方の中学校の指揮ができるかについても問題があります。この辺りは変えようとして全日本吹奏楽連盟が今動いているとは思いますがまだ変わってはいません。こういった辺りも、地域移行の中で進めてほしい。行政の方からも困った状況にありますよと吹連に言ってもらいたい。せっかく一生懸命頑張っても、子どもたちがコンクールに出場できない状況が出ているので。</p> <p>指導者の資格についても、ある資格を持っていないと駄目とかというルールがある団体もあります。その辺りも行政が絡んでもらえれば変わっていくと思います。</p> |
| 議長 | <p>ありがとうございました。確かに中学校での部活動という概念が大人にはありまして、そこが大きく変わるという認識を社会全体で持たないと理解されないしうまくいかないと思います。3年間の移行期の間、いろいろな問題点を出して調整をしていくということになるのかなというふうに思います。</p> |
| 教育長 | <p>最後ということで、一言だけお礼を申し上げたいと思います。第1回に引き続き2回目であったのですが、第1回に比べると本質的なところにご意見がいており、非常にありがたいと思っています。私も事務局も元教員が中心になってこれまで来ており、どうしても子どもたちを守ろう・子どもたちの部活の機会を守ろうというところを大事にして行ってきました。今日、斎藤先生や皆さんのご意見の中に、地域でも受入れますよという気持ちが伝わりました。最後、漆原先生の方からも社会全体で部活動のあり方を見直していかなければいけないという、ご意見・ご指導をいただきまして、その通りだなと思いました。社会全体で子どもたちをどう育てていくかということで、今後ご意見を賜ればと思います。本日は本当にありがとうございました。</p> |